

地域社会の一員として。

これまでも、これからも、
私たちは、地域の皆さまと共に歩み続けます。

社会貢献活動の基本方針

地域社会の一員として地域社会との交流を深めるとともに、文化・教育振興支援、社会福祉活動等の社会貢献の継続的な活動を通じ、地域との共栄、地域奉仕を実践してまいります。



当行では、「地域との交流」、「環境問題への取り組み」、「金融教育の支援」、「文化活動の後援」、「スポーツの振興」および「社会福祉への貢献」の6つのテーマを掲げ、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

平成26年度社会貢献活動計画

1. 地域の復興・活性化を後押しするとともに、環境問題などの社会的課題の解決を図るため、金融サービスの提供を通じて貢献する活動を推進してまいります。
2. 地域経済の担い手の育成に貢献するため、当行の実務知識やノウハウを活かした金融教育に積極的に取り組んでまいります。
3. 当行の役職員へ社会貢献活動の啓発を進めるとともに、社会貢献にかかわる役職員の活動を支援してまいります。

平成26年度の主な計画

地域との交流

- ・地域行事・イベントへの参加・協力
- ・「子ども110番の家」の活動

環境問題への取り組み

- ・省エネ型設備の導入
- ・クールビズ・ウォームビズの実施

金融教育の支援

- ・小学生向け就業体験施設「スチューデント・シティ」への出店
- ・地元大学への提供講座の開設

文化活動の後援

- ・「七十七スターライトシンフォニー」（コンサート）の開催
- ・「七十七ふれあいコンサート」の開催

スポーツの振興

- ・学生向けスポーツイベントの開催
- ・地元プロスポーツ（楽天、ベガルタ、89ERS）の協賛

社会福祉への貢献

- ・企業献血の実施
- ・医療・介護分野における金融仲介機能の発揮

(1) 地域との交流

地域行事への参加

平成26年5月、第30回「仙台青葉まつり」が開催され、行員約190名がまつりのハイライトである山鉦巡行に参加しました。当行の「七福大太鼓山鉦」の勇壮な太鼓の音が響く中、この日のために練習を重ねてきた踊り手の演舞に観客から拍手と声援が送られました。

また、毎年8月に開催される、東北三大祭りの一つである仙台七夕まつりでは、まつりの会場となるアーケード内の営業店と本店営業部前に七夕飾りを飾っているほか、毎年1月に行われる小正月の伝統行事であるどんと祭では、大崎八幡宮へ裸参りを行っております。

各支店においても、気仙沼みなとまつりや、竹駒神社秋季大祭小神輿渡などの地域のお祭りや、大崎市商工会が主催するバレーボール大会などのスポーツ大会へ参加するなど、各種イベントへの参加を通じ、地域との交流を図っております。



仙台青葉まつり



仙台七夕まつり



どんと祭裸参り

ロビー展の開催

当行では、地域との交流を図るため、営業店のロビー等を開放し、写真展や絵画展を開催するなど、地域のさまざまな活動を紹介しております。

平成26年8月には、仙台・作並回文の里づくり実行委員会による「第16回日本ことば遊び回文コンテスト」の入選作品を一番町支店のショーウィンドーに展示いたしました。

平成26年12月には、クリスマス进行をテーマに園児が描いた絵画を営業店のショーウィンドーに展示するクリスマス絵画展を開催いたします。



第16回日本ことば遊び回文コンテスト
入選作品

「子ども110番の家」の活動

当行では、平成26年2月より、地域の防犯活動支援の一環として、宮城県警察と連携し「子ども110番の家」の活動を開始いたしました。

万一、不審者に声をかけられた場合などは、最寄りの当行営業店に駆け込んでいただき、当行が警察等に連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていく取組みです。

なお、警察と協定を締結のうえ、本活動を実施する金融機関は東北では当行が初めてとなります。



(2) 環境問題への取組み

地域金融機関として環境に対する当行の考え方を明確化し、地域の自然環境を保全し環境負荷の軽減を図る取組みを積極的かつ継続的に推進するため、「環境方針」を制定し、公表しております。

本方針のもと、持続可能な社会の形成に向け、環境保全活動を推進してまいります。

環 境 方 針

【基本理念】

七十七銀行は、良き企業市民として、美しく豊かな自然環境を守り、次の世代により良く引き継いでいく社会的責務があると考えています。

当行は、経営の基本理念である行是の第一に掲げる「奉仕の精神の高揚」という考え方のもと、地域社会と共生する企業を目指し、持続可能な社会の形成に向け環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組んでまいります。

【行動指針】

1. 環境に関連する法規制、協定およびその他当行が同意する事項を遵守します。
2. 省エネルギー、省資源およびリサイクル活動を推進し、環境負荷の軽減に努めます。
3. 環境に配慮した金融商品、サービスの提供により、環境保全に取り組むお客さまを支援します。
4. 役職員一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、地域社会の環境保全活動を推進するために、啓発活動に取り組みます。

被災した地域の環境保護・再生への取組み

・被災した海岸防災林の植樹活動

当行は「日本の森を守る地方銀行有志の会」のメンバーとして、美しい健全な自然を次世代に引き継いでいくための活動を行っております。この「日本の森を守る地方銀行有志の会」は、各行の森づくり活動等の情報をネットワーク化することにより、国土の7割を占める日本の森を守る活動を支援する目的で発足した組織です。

平成25年4月に仙台市で開催された「日本の森を守る東北サミット」では、震災により甚大な被害を受けた海岸防災林を再生するため、新入行員135名がクロマツの苗木約750本の植樹を行いました。

クロマツの苗木は順調に成長しており、今後も地元金融機関として当行が管理してまいります。



啓発活動などの環境保全活動

・ライトダウンキャンペーンへの参加

環境省が実施する「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」に参加し、銀行施設の一部のライトダウンを実施するなど、地球温暖化防止に向けた取組みに努めております。

環境負荷の軽減に向けた取組み

・環境に配慮した店舗の設置推進

環境負荷軽減の観点から、当行では環境に配慮した店舗の設置を推進しております。

平成26年6月には、長町南支店が、太陽光発電システム・高性能ガラス・照明自動調光システム等を取り入れた当行初の「エコ店舗」として開店したほか、塩釜西支店が、LED照明および省エネ型空調機を導入した当行5カ店目の「環境対応店舗」として新築移転いたしました。

・クールビズ・ウォームビズの実施

温室効果ガス排出削減および節電対策の一環として、夏期にクールビズを、冬期にウォームビズを実施しております。

夏期は室内温度を28℃、原則ノー上着・ノーネクタイの軽装とし、冬期は室内温度を20℃として暖かい服装で勤務するなど、地球温暖化防止への意識高揚にも貢献しております。



・リサイクル・省資源への取組み

営業店の文書・帳票などの情報資産管理の厳格化と事務効率化を図るため、文書管理システムを導入しています。文書保存用ファイルはとじ具を含め100%紙製のものを使用し、保存期限が経過した情報資産をファイルのまま溶解のうえリサイクルできるようにしております。

また、大量に使用する伝票や封筒、印刷物についての再生紙利用、ペーパーレス化の推進、グリーン購入の推進など、日常的な環境負荷の軽減にも努めております。

・LED照明への切替え

省エネルギーへの取組みを強化するため、平成27年9月末までに、全ての店舗（注）およびキャッシュサービスコーナーを対象に、営業室やロビー等の照明を蛍光灯からLED（発光ダイオード）へ切替えを進めております。

LED照明への切替えにより、照明の間引き等で節電に努めている現状と比べ、年間約435千kwh（一般家庭の約120世帯分）の電力使用量が削減できる見込みです。



（注）既にLED照明を設置している店舗および建替えを予定している店舗等を除きます。

・環境に配慮した営業車両の導入

ガソリン等の使用による温室効果ガス排出の抑制を図るため、営業車両におけるハイブリッド車や低燃費の軽自動車等の環境対応車への切替えを順次行っております。平成26年度上半期は20台の環境対応車への切替えを行いました。

・環境に配慮した素材を使用した通帳の取扱い

当行では、通帳の素材に再生紙としてリサイクルが可能な「紙クロス」を使用しております。また、焼却時の有毒ガス発生を抑制するため、印刷塗料に「植物油インキ」を使用し、磁気ストライプには「脱塩化ビニル」の素材を採用しております。

金融商品・サービスを通じた環境保全活動

当行では、金融商品・サービスを通じて、環境保全活動等の社会貢献活動に積極的に取り組む企業や、個人のお客さまを支援しております。

- ・地球温暖化防止、リサイクル関連設備導入等に取り組む企業を対象とした「＜七十七＞社会貢献活動支援ローン」および「社会貢献活動支援私募債」をお取扱いしております。
- ・環境配慮型企業等への投資を対象とした投資信託「フィデリティ・スリー・ベーシック・ファンド(水と大地とエネルギー)」をお取扱いしております。
- ・エコカー等を購入するお客さまを対象にマイカープランの金利引下げを実施しております。



(3) 金融教育の支援

東北学院大学提供講座

当行では、平成23年度より、東北学院大学経営学部において銀行実務をテーマとした「七十七銀行提供講座」を開講しており、本年度も9月に講義を開始し、約160名が受講しております。

「七十七銀行提供講座」では、銀行業務の具体的内容や最近の金融動向および地域経済における地域金融機関の役割等について、当行行員が講師となり、講義を行っております。



全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」宮城大会

当行では、人生設計や生活防衛に不可欠な金融経済知識を習得する教育事業を通じて、地域への社会貢献を図るため、特定非営利活動法人金融知力普及協会との共催により、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」宮城大会を毎年開催しております。

平成25年12月、5回目となる宮城大会を当行本店で開催し、26チーム(52名)の皆さまに参加いただきました。

今年度も平成26年12月に、当行本店で6回目となる宮城大会を開催予定です。優勝チームは、宮城県を代表して全国大会へ出場します。



体験型教育プログラム「スチューデント・シティ」の活動開始

平成26年8月、当行は、仙台市が取り組む体験型教育プログラム「スチューデント・シティ」に協賛・出店いたしました。

「スチューデント・シティ」は、ブースに再現された店舗・事務所での従業員や顧客としての体験を通じて、経済や社会の仕組み、仕事の流れなどについて学ぶ体験型教育プログラムで、仙台市の公立小学校5、6年生の授業のカリキュラムの一部として行われるものです。

当行のブースでは支店のカウンターを再現し、銀行の窓口業務を体験していただきます。平成26年度は計27回の活動を予定しております。



七十七銀行金融資料館

平成10年12月、創業120周年を記念し、地域の皆さまの長年のご愛顧への感謝を込めて、七十七銀行金融資料館を開設いたしました。お金の歴史と役割、銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業経済等をわかりやすく紹介しています。

平成26年度上半期は、小・中・高計27校の学生を含む約800名の皆さまに来館いただき、金融教育の場にご活用いただきました。また、平成25年4月から6月までの間「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」の観光スポットとしても紹介されました。



所在地：七十七銀行本店4階 入館無料
開館時間：平日9:00～15:00（銀行休業日は休館）
（地域開発部調査課 022-211-9735）

(4) 文化活動の後援

七十七スターライトシンフォニー

“SENDAI光のページェント”は、仙台市民の手作りによる冬の風物詩として定着しておりますが、当行も市民の一員としてこのページェントを盛り上げたいとの趣旨で、平成3年より「七十七スターライトシンフォニー」と題しコンサートを開催しております。

23回目の開催となる今年は、加山雄三さんをゲストに迎え、仙台フィルハーモニー管弦楽団の演奏をバックに数々のヒットナンバーをお届けします。

また、会場では震災復興や光のページェントの運営等に役立てていただけるよう募金活動も実施します。



七十七ふれあいコンサート

「七十七ふれあいコンサート」は、地域の小・中学生の皆さまに迫力ある生のオーケストラ演奏に接する機会を提供することを目的に、仙台フィルハーモニー管弦楽団に協力いただき、平成4年度から継続して開催しているコンサートです。

震災後は音楽の力によって震災復興への勇気と希望を与える一助になればとの思いを込め、石巻市、気仙沼市、東松島市など、震災の被害が大きかった地域を中心に開催してまいりました。

平成26年度は2回開催し、通算で50回目を迎えました。大和町まほろばホールに小学生とご父兄約400名を招待して開催したほか、南相馬市鹿島生涯学習センターに中学生とご父兄約350名を招待して開催し、生徒によるオーケストラ指揮の体験や、演奏者による楽器の解説等を交えながら生演奏を楽しんでいただきました。



文化活動への協賛

当行では、地域の文化振興に貢献するため、多くの文化活動等への協賛を行っております。平成26年度上半期は、「東日本大震災復興支援特別公開ゴッホのひまわり」展や大相撲中新田場所などへの協賛を行いました。

(5) スポーツの振興

地元プロスポーツチームを通じたスポーツ振興

当行は、ベガルタ仙台、東北楽天ゴールデンイーグルス、仙台89ERSのオフィシャルスポンサーとして地元プロスポーツチームの活動を支援し、地域のスポーツ振興に貢献しております。

総合口座通帳およびICキャッシュカードに上記3チームのキャラクターデザインを採用しており、より多くのお客さまに地元プロスポーツに親しんでいただいております。



仙台国際ハーフマラソン大会でのボランティア活動

平成26年5月、「仙台国際ハーフマラソン大会」において、行員約30名が給水スタッフとしてボランティア活動に取り組みました。

当行本店ビル近くに設置された給水所で、約13,500名のランナーに熱い声援を送りながら給水活動を行いました。



運動部の活動を通じたスポーツ振興

当行では、運動部の活動を通じて地域のスポーツ振興に取り組んでおります。

硬式野球部、陸上競技部、バドミントン部は、都市対抗野球大会や日本陸上競技選手権大会、バドミントン日本リーグなど、全国レベルの大会等に出場しているほか、スポーツ振興を通じて震災復興の一助になればとの思いを込め、技術指導等を積極的に行っております。

・企業スポーツとしての活動

硬式野球部

- ・第85回都市対抗野球大会出場
- ・第40回社会人野球日本選手権大会出場

陸上競技部

- ・第98回日本陸上競技選手権大会
女子200m 第3位入賞

バドミントン部

- ・ヨネックス大阪インターナショナル
チャレンジバドミントン選手権大会2014
女子シングルス ベスト8
- ・2014全日本社会人バドミントン選手権大会
女子シングルス ベスト8



・技術指導等の主な取組み

硬式野球部

- ・平成26年6月、当行が共催した富谷町少年野球大会に出場した64チームを対象に野球教室を開催いたしました。（富谷町）

陸上競技部

- ・平成26年6月、日本陸連の公認記録会である「七十七銀行陸上競技記録会 チャレンジ2014」を開催し、被災地域の学生を含む約1,830名の皆さまにご参加いただきました。（仙台市）
- ・平成26年6月、宮城県スポーツ振興財団主催の小学生陸上クリニックで、小学生約100名を対象に陸上の基本動作を指導いたしました。（仙台市）

バドミントン部

- ・平成26年6、7月、女性バドミントン愛好家が集まる宮城県レディースの選手延べ120名を対象に技術指導および合同練習会を行いました。（仙台市）
- ・平成26年6、9月、宮城県小学生バドミントン連盟主催による特別強化練習会に参加した宮城県内の小学生延べ120名を対象に技術指導を行いました。（仙台市）
- ・平成26年6月、宮城県中学校体育連盟主催の指導者講習会に参加した中学校教員20名を対象にバドミントンの指導方法を指導いたしました。（仙台市）
- ・平成26年8月、塩釜市教育委員会主催のバドミントン講習会に参加した塩釜市内の中学生約60名を対象に技術指導を行いました。（塩釜市）

(6) 社会福祉への貢献

七十七愛の募金会

「七十七愛の募金会」は当行がこれまで地域社会から受けてきたご支援への感謝の意を表すため、平成6年に社会福祉事業・施設等への寄付を目的として当行役職員により設立されました。

平成26年10月に宮城県内社会福祉協議会から推薦を受けた社会福祉施設5団体とボランティアグループ7団体に対して総額170万円を贈呈いたしました。

企業献血による献血事業への協力

医療に必要な血液の安定的な確保に寄与するため、宮城県赤十字血液センターの協力を受け、企業献血を実施しております。平成26年度上半期は本店、泉センターの他11ヵ店において移動採血車による献血を実施し、約260名が参加いたしました。

また、当行は、平成20年に創業130周年を記念して、宮城県赤十字血液センターに移動採血車1台を寄贈しており、県内各地で活用いただいております。

七十七交通安全協力会

当行は、交通安全運動の推進とその支援・協力を行う「七十七交通安全協力会」を組織しております。

本協力会では、交通安全意識高揚の一助となるよう、昭和44年から毎年、宮城県内の新入学児童に「交通安全下敷」を寄贈しており、平成26年度も新入生約2万3千名に贈呈いたしました。

「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動宮城県本部の設立以来、38年にわたりその活動の事務局を務めており、企画・運営に携わっております。

毎年、仙台七夕まつりの開催前には「夏の仙台・クリーンキャンペーン」を実施しており、平成26年度は、当行役職員約100名（会員企業合計約300名）が参加し環境美化活動に取り組みました。また、毎年、県内の社会福祉施設に車椅子を寄贈するとともに、老人福祉施設を慰問し演芸大会などを行っております。

このほかにも、毎年、県内の小学校などに当運動のシンボルフラワーであるコスモスの種子の寄贈を行っているほか、使用済の切手やプリペイドカードの収集を行い収集実践団体等へ寄贈しております。

自動体外式除細動器(AED)の設置拡大

当行では、人命救助への備えとして、これまで、本店営業部に設置しておりました自動体外式除細動器(AED)について、平成26年11月に、新たに事務センター、泉センター、研修所および宮城県内営業店13ヵ店(名掛丁、二日町、卸町、長町、泉、宮町、塩釜、石巻、気仙沼、古川、佐沼、白石、岩沼)へ設置拡大いたしました。

